

長崎港空NEWS

NO.14 (2025年3月下旬発刊)

○業務の紹介

- ・西海市沖の洋上風力巡視

○お知らせ

- ・長崎県内のクルーズ船寄港状況

○トピックス

- ・土木の日～DOVOCフェア2024～
- ・比田勝港「釣り文化振興モデル港」指定証交付式
- ・長崎県離島地域の振興と港湾に関する研究会
- ・フレッシュマン紹介
- ・部活動紹介(やま部)



比田勝港「釣り文化振興モデル港」指定証交付式



岩屋山からの様子(日の出)



部活動紹介(やま部)

業務の紹介

西海市沖の洋上風力巡視

- 長崎県西海市江島沖では、海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律(再エネ海域利用法)に基づいて、洋上風力発電事業の取り組みが進められています。
- 令和4年9月に、経済産業省及び国土交通省から「促進区域」に指定され、令和5年12月に促進区域の発電事業者として「みらいえのしまコンソーシアム」が選定されました。
- 長崎港湾・空港整備事務所では、年に1回西海市江島沖の促進区域内に、利用に支障を与える行為がないか等について巡視を行っています。

■事業概要

事業者名	みらいえのしまコンソーシアム
構成員	住友商事株式会社(代表社員) 東京電力リニューアブルパワー株式会社
事業場所	長崎県西海市江島沖の一般海域
発電設備	着床式洋上風力発電
風車機種	Vestas V236-15MW×28基
運転開始予定時期	2029年8月
供給価格	22.18円/kWh

巡視を行う上での確認ポイント!

- ・促進区域内での作業船等の状況確認。
- ・洋上風力以外の施設や工作物がないか。
- ・促進区域内海域の利用または保全に支障を与えるおそれのある行為がないか。等

▼西海市沖での巡視の様子



▼現地状況



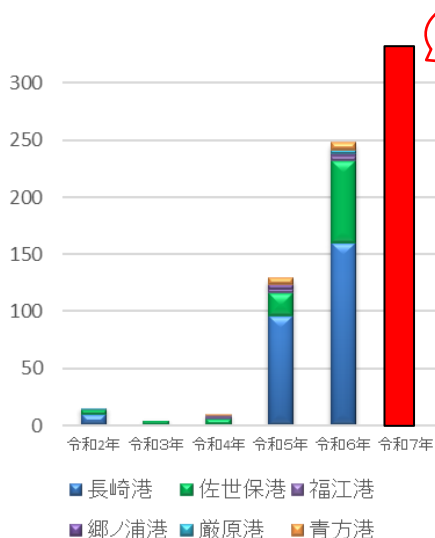
●位置図



お知らせ

長崎県内のクルーズ船寄港状況

過去5年間の長崎県内の寄港状況に着目



約350回
寄港予定

～令和6年の寄港実績と令和7年の寄港予定について～

○令和6年の寄港実績

- ・長崎県全体では247回を記録
- ・港別にみると回数が一番多いのは長崎港で160回
- ・前年比約4倍を記録した港は佐世保港で72回
- ・離島でも年間を通じた寄港を記録

○令和7年の寄港予定

- ・長崎県全体では350回を超える見込み(長崎県HP等)
- ・外国人観光客の更なる増加が期待される



土 木 の 日

土木の日とは、「土木学会」が定めたもので

1. 「土木学会」の前身である「工学会」の設立日が、明治12年11月18日であること
2. 「土木」という字を分解すると、「土＝十一」、「木＝十八」となることから11月18日が「土木の日」となっています。
長崎港湾・空港整備事務所では長崎空港と佐世保港の「土木」を紹介しました。

■長崎空港

空港島全体を見渡すことができる長崎空港のシンボル「花文字山」へご案内し、大阪航空局長崎空港事務所ご協力のもと長崎空港の魅力をご説明しました。



■佐世保港

令和6年6月1日供用開始された佐世保クルーズセンターへご案内し、佐世保市役所ご協力のもと佐世保港の魅力をご説明しました。

また、佐世保市の四ヶ町アーケードでパネル展を開催しました。



参加者の声

- ・毎年参加してみたい！ ・今後も続けてほしい！
- ・普段見ることができないものを見学できて良かった！等

「釣り文化振興モデル港」指定証交付式

～ 比田勝港 ～

釣り文化振興モデルとは・・・

国土交通省港湾局は、観光資源としての港湾における釣り施設や既存の防波堤等の利活用を進めており、地域の関係者による地方創生を目的とした釣り文化振興の取組が進められている港湾を「モデル港」として募集し、「釣り文化振興モデル港」として指定します。

○モデル港の指定要件

- ・釣りによる地域創生・地域活性化を図るという地域の意向があること。
- ・釣り客の需要が一定程度見込まれること。
- ・釣果が見込まれる防波堤等の港湾施設があること。
- ・地元関係者からなる協議会等が組織されていること。
- ・安全対策が十分にとられていること。

○モデル港の応募者

- ・地元関係者からなる協議会等



【指定日】令和6年8月7日

【交付式】令和6年10月17日

※長崎県内では青方港に続き2港目の指定

長崎県離島地域の振興と港湾に関する研究会

令和7年2月18日、19日に「長崎県離島地域の振興と港湾に関する研究会（第9回）」を壱岐市で開催しました。

本研究会は、港湾行政として取り組むべき課題や検討すべき論点等を整理するため、社会・経済情勢の変化を踏まえた今後の離島地域の振興と港湾政策のあり方について、対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町、小値賀町の離島首長にお集まりいただき意見交換を行うものです。

18日は、長崎大学名誉教授 高橋和雄先生を講師にお招きし、離島防災をテーマとしたご講演をいただいた後、首長の皆様から各市町における取り組み等についてご紹介いただきました。

九州地方整備局からは、「命のみなとネットワーク」の形成に向けた取組についてご紹介しました。

翌19日は、国で整備した郷ノ浦港の耐震強化岸壁等の現場視察を行いました。

▼ 研究会の様子



▼ 現場視察の様子



フレッシュマン紹介



森貴規と申します。出身は福岡県です。大学時代は鹿児島県で過ごしました。卒業後はカナダへ語学留学に行っていました。

入省してからまだ日は浅いですが、先輩職員の皆さまに支えられて日々の仕事に精進しています。主に職員の給与や勤務時間の管理、健康面のサポートなどを担当しています。職員の働きやすい環境づくりに貢献できているという実感が仕事のやりがいにつながっています。

また、何度か実際に現場へ足を運んで事業の規模の大きさを感じ、責任感とワクワク感を持ちながら日々の仕事に取り組んでいます。長崎県は観光名所や食文化など、とても魅力の多い街なので休日を利用して長崎での生活を楽しんでいきたいと思っています。

部活動紹介(やま部)

所内の部活動として、休日に若手職員を中心に登山を行っています。

やま部には松延所長も参加されて職員間の仲を深めるよい機会になっています。

今年度は、長崎県の郡岳や佐賀県の天山など毎回登る山を変えて各地で登山に挑戦しています。

登山の後の温泉は日頃の疲れも一緒に癒してくれるので最高です！



▲楽しく登山する様子



▲集合写真



▲郡岳からの景色



国土交通省 九州地方整備局
長崎港湾・空港整備事務所



〒850-0961 長崎市小ヶ倉町3丁目76-72

TEL: 095-878-5175 FAX: 095-878-6734

URL: <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/>

フリーダイヤル おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

最寄りの港湾・空港整備事務所につながります

長崎港湾・空港整備事務所の業務内容

当事務所では、重要港湾における国が行う港湾施設（岸壁、防波堤、航路、泊地など）の整備と長崎空港の土木施設（滑走路、誘導路、エプロン等）の整備、開発保全航路の管理を行っています。具体的には、施設を整備・管理するための工事の発注や監督業務、工事を発注するための予算の要求などを行っています。

また、海やみなとに関する相談、アドバイス、出前講座等を行っています。

※開発保全航路・・・国が開発及び保全を行う重要な航路のこと

長崎県内の開発保全航路・・・蟬蛾ノ瀬戸航路（じょうがのせとこうろ）

万閑瀬戸航路（まんげきせとこうろ）

平戸瀬戸航路（ひらどせとこうろ）

出前講座とは・・・？

出前講座では、職員が皆さんの職場や学校等に
出向き港・空港について
分かりやすく説明します。



事務所HP_QR

